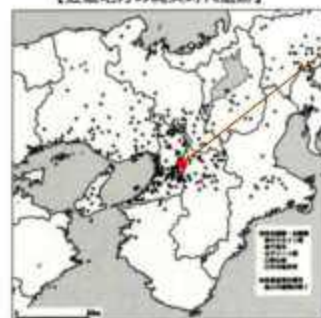


日本列島の誕生と縄文文化

期末試験の重要ポイント
「なんでやねん」号外

サヌカイト製の石器は近畿一円に

【近畿地方の縄文時代遺跡】



二上山
奈良県香芝市

資料出所：奈良県二上山博物館『サヌカイトー元始の謎ー』
2011年 p.22.

石器石材が広がる条件は何か？

全国の遺跡から、他の地方の石材が出る。
石材のない所の人が入れる方法を考えよう

- ・ 移動生活をしていた人たちが持って歩いた
- ・ 石材の取れる所まで取りに行った
- ・ 近くのむらで持っている人と、何かと交換した
(物々交換)
- ・ 近くのむら から むらへ
バケツリレー的に交換された

縄文時代は1万年続いた

「なんでやねん」No.20「原始時代の年表」で確認しよう

- ① いつごろ、定住するようになったのだろうか？
- ② 移動生活と定住生活は、何が違うのか？
- ③ 定住生活を可能にした条件は何か？
- ④ 木の実で栄養は足りたのか？
- ⑤ 木の実を食べるようになると、人々の役割はどのようなようになったのだろうか？

磨製石器と縄文土器で何がわかるか

石皿(いしざら)と磨石(すりいし)



石皿は2kgから4kgの重さ



復原された竪穴住居



岩手県 御所野遺跡

縄文時代中期後半の集落遺跡

仕事の役割に変化がおきた

旧石器時代の狩りは男性がした
縄文時代では、女性も子どもも仕事をした

- ・ 旧石器時代の狩りは危険で体力が必要
- ・ 弓矢と「わな」や「落とし穴」を使うようになると
狩りにも、女性や子どもでも出来る役割があった
- ・ 土器作りは女性の仕事になった
- ・ 木の実の採集は女性や子どもの役割
- ・ 男性には狩り以外の仕事をする時間が生まれた

縄文人の寿命は、なぜ短かったのか？

- ・ 江戸時代でも、出産の15%くらいは死産
・・・産まれても5歳までに約1/4が死んだ
- ・ 子どもの墓は、大人の約6倍ある(三内丸山)
・・・住居の近くに埋められた(多くの遺跡)
- ・ 15歳時での平均余命(あと何歳くらい)は、男は16.1歳、女は16.3歳 ・・・平均31歳位で死ぬ
- ・ 縄文人の平均寿命は、10歳代前半ぐらい
- ・ なぜ、縄文人の寿命は、短かったんだろうか？

木の実はカロリーが高い

可食部100gあたり

- ・ 精白米 356キロカロリー(タンパク質9g)
- ・ トチの実 370キロカロリー(タンパク質3g)
- ・ クヌギの粉 340キロカロリー(タンパク質6g)
- ・ オニグルミ 672キロカロリー(タンパク質24g)
- ・ カヤの実 612キロカロリー(タンパク質12.2g)
- ・ ブナの実 524キロカロリー(タンパク質25g)

江原絢子・石川尚子・東四柳祥子『日本食物史』吉川弘文館
2009年 p.15 より。

食べられた クリ と ドングリ



木の実は渋い(アクがある)

- ・ 縄文人は、アク抜き技術を開発した
- ・ 4つの方法 (どれも先に殻を取り乾燥させてから)
丸のまま川の水でさらす (80日~100日間)
粒にして川の水でさらす (30日~45日間)
粉にして、土器に入れて、何度も水かえをする
(7日~20日間)
粉にして、土器で水を足しながら煮る (3日間)

生きる知恵は どう伝わったか

縄文時代に学校はない

- ・ 子どもはだれから生きる知恵を学ぶのだろう
- ・ 身近な大人(親)や兄弟から学んだ
- ・ とても強い家族のつながり
- ・ むらの大人から学んだ
- ・ むらの若者から学んだ